

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市域及び市役所の事務事業	意図	温室効果ガスの削減を図る。
事業内容	地球温暖化対策実行計画に基づいて、市域全体の二酸化炭素排出量を削減するため、啓発チラシの配布、公用自転車の普及促進、環境家計簿コンテスト（節電チャレンジ）、一般家庭への省エネ啓発機器の貸出し等を実施する。また、地球温暖化対策実行計画の改定を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年に地域温暖化対策地域推進計画を作成、平成22年3月に第2期計画となる地球温暖化対策実行計画を策定した。その後、第3期計画となる計画のうち、事務事業編を平成28年3月に改定し、区域施策編については平成28年度中に改定を予定している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 公用自転車の導入台数	14	14	14	台	→→	
	② 環境家計簿コンテスト結果	129	179	206	世帯	↑↑↑	
	③ 省エネ啓発機器貸出世帯	15	6	3	世帯	↑↑↑	
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	地球温暖化対策に向けた取組課題や方向性の明確化					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 「ながれやま節電チャレンジ」を夏期・冬期の2回実施し、電力使用量前年比10%以上の節電（前年の節電チャレンジで達成している世帯は1%以上の節電も応募可能）した世帯に流山共通ポイントカード「ながぼんポイント」を500ポイント贈呈した。夏期は57世帯、冬期は149世帯の応募があった。また、家電の電気使用量を計測できる省エネ啓発機器の貸し出しなどを行った。	
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,373,844	5,385,858	5,685,425			
事業費(b)(円)		1,181,644	1,239,858	1,167,425			
うち一般財源		1,181,644	1,239,858	1,167,425			
職員給与費(c)(円)		4,192,200	4,146,000	4,518,000			
人役・職員(人)		0.60	0.60	0.60			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	各種温暖化対策事業について、より多くの市民に取り組んでもらえるように啓発方法や内容について改善を行う。	③取組の課題	引き続き民生部門の排出量を削減する取組を進めるため、一層の啓発が必要であるとともに、節電チャレンジについては電力の小売自由化に対応する必要がある。
②今年度(H27)に実施した取組	ながれやま節電チャレンジについて、奨励金等の利用者へ周知を行った結果、参加人数が増加した。	④今後の改善計画	節電チャレンジについて運用方法を検討する。